

まちにもっと
にぎわいを！

安心して歩ける
まちなかに！

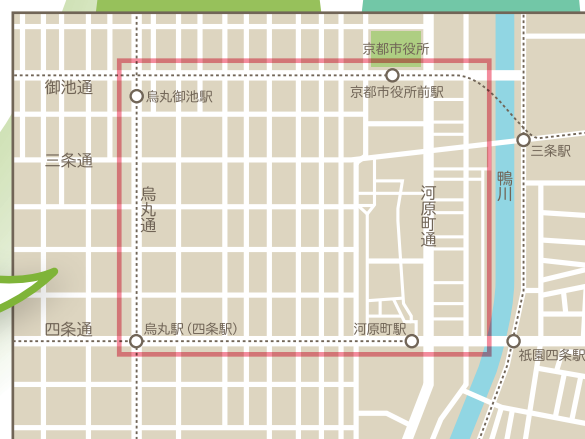
まちなかだから
できることを



人と環境にやさしい まちなか物流 を目指して——。

多くの商店街が存在し、1000以上の商店が集まる京都のまちなか。モノを運び、届ける物流は、地域の活動に大きな役割を果たしています。

路上での荷さばき車両を整理・整頓し、誰もが安心・安全で快適に歩ける空間を創出するには一体どうしたらよいのでしょうか？



※四条通、烏丸通、御池通、河原町通で囲まれた「歴史的都心地区」を中心とするエリアを「まちなか」と呼んでいます。

まちなかの物流は、どこへー？

まちなかで荷さばきするトラックや乗用車。「危ないなあ…」と思ったことはありませんか？

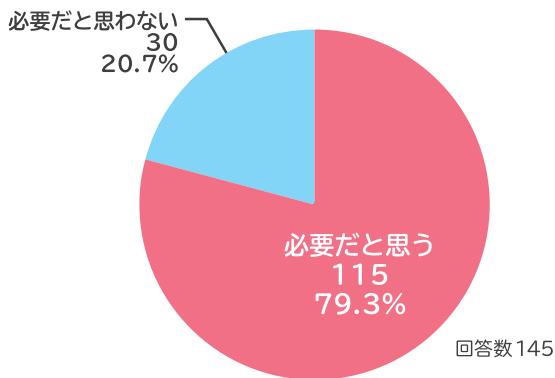
でも、その荷物は、いったいどこへ行くのでしょうか…？



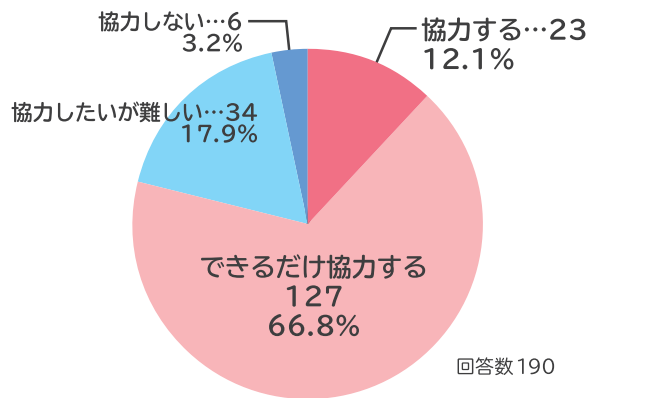
まちなか物流と路上荷さばきの関係について ～アンケート結果より～

平成29年11月から12月にかけて、京都商店連盟中京東支部の商店を対象に「納入・出荷に関するアンケート」を行ったところ、約8割の方が「まちなか物流の解決は必要」と答えています。

「歩いて楽しいまちなか」の実現に向けて、路上駐停車や路上荷さばき等の物流問題の解決が必要であると思いますか。



あなたは物流問題の解決に向けた取組に協力していただけますか。



※「わからない」及び無回答除く

路上荷さばきに対する認識

凡例 ■非常に思う ■やや思う ■どちらでもない ■あまり思わない ■全く思わない

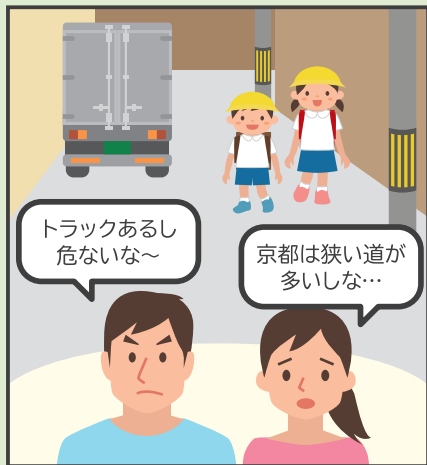
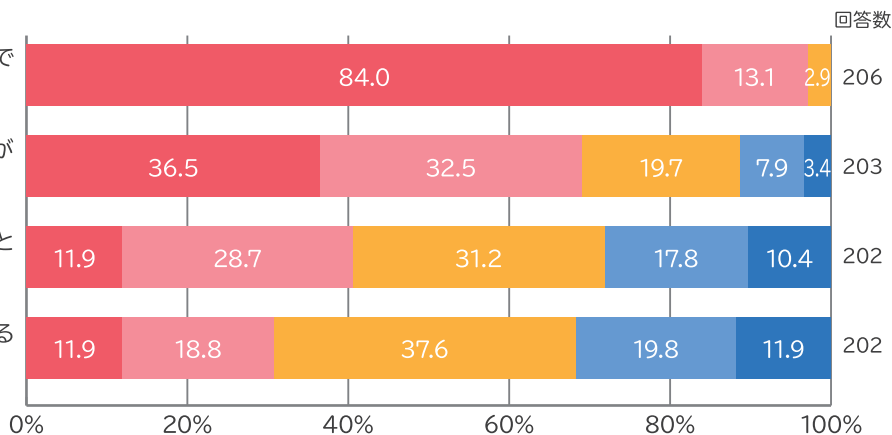
物流は店舗を経営していくうえで不可欠なものだ

自分の店舗の前に物流車両が長時間駐停車するのは困る

歩行者の安全が阻害されることはない

道路の円滑な交通が阻害されることはない

納入・出荷のために物流車両の路上駐停車が行われても…



人と環境にやさしいまちなか物流の実現に向けて、ご協力よろしくお願いいたします。